

教育委員会会議録

(定例会)

令和3年6月17日開催

さいたま市教育委員会

1	期	日	令和3年6月17日(木)		
2	場	所	教育委員会室		
3	開	会	午後2時00分		
4	出	席	教 育 長	細 田 眞由美	
			教育長職務代理者	大 谷 幸 男	
			委 員	石 田 有 世	
			委 員	野 上 武 利	
			委 員	武 田 ちあき	
			委 員	柳 田 美 幸	
5	議場	に出席した者	副教育長	高 崎 修	
			管理部長	栗 原 章 浩	
			学校教育部長	平 沼 智	
			生涯学習部長	千 葉 裕	
			中央図書館長	内 山 恵 介	
			管理部参事	野 津 吉 宏	
			管理部参事兼教育総務課長	高 木 泰 博	
			管理部参事兼教育政策室長	玉 崎 芳 行	
			学校教育部参事兼教職員人事課長	清 水 一 司	
			生涯学習部参事兼青少年宇宙科学館長	引 間 陽 子	
			生涯学習部参事兼うらわ美術館副館長	酒 井 浩 志	
			中央図書館参事兼管理課長	樋 爪 勇 司	
			健康教育課長	宮 野 充	
			博物館長	高 力 弘	
6	会議録署名委員		柳 田 美 幸		

7 議事等の概要

- 細田教育長 それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。
- 書記 おりません。
- 細田教育長 本日の会議録の署名委員は、武田委員にお願いいたします。
本日の議案第28号から35号は、人事に係る案件であることから、非公開とすることをお諮りしたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 細田教育長 それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、ただ今申し上げた議案はすべて非公開といたします。
会議の順番ですが、議案第27号より、議案番号順に審議を行うことといたします。

議案第27号 令和3年度教育委員会の点検・評価報告書について

- 細田教育長 議案第27号につきまして、事務局から説明をお願いします。
- 教育政策室長 議案書の1ページを御覧ください。令和3年度教育委員会の点検・評価報告書について、御説明をさせていただきます。
本件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、本日、議案として上程するものでございます。なお、説明につきましては、事前に本案について御覧いただいた際に御指摘いただきました部分についてとさせていただきます。
それでは、別冊「令和3年度教育委員会の点検・評価報告書(案)」及び別紙「令和3年度点検・評価報告書検討会後の修正箇所一覧」を御覧ください。はじめに、各事業で御指摘いただきました部分の修正のうち、主なものについて説明いたします。
報告書(案)の4ページを御覧ください。9行目の学校訪問の訪問数が5校にとどまったことについて新型コロナウイルス感染症の影響によることを追記しました。次に、11ページを御覧ください。「1(1)ICTを活用した学びの改革」につきまして、「エバンジェリスト」、「ゲートウェイ」について、市民がみても、分かりやすいように表現するべきではないか、と御指摘をいただきましたことから、ア

スタリスクを追記し、それぞれについて説明を加えました。また、C a n D o 調査の結果も記載しては、と御指摘いただきましたので、『◇教員のICT活用指導力の向上』欄に追記しました。また、18ページの「1(6)のさいたま市学習状況調査等の活用」の全国学習状況調査について、教育委員会としての総括について記載があるとよいと御指摘いただきましたので、〈今後の方向性〉に追記しました。また、40ページの「1(3)の主権者教育の推進」につきまして、与野南小学校の議場見学について御意見があった際に、オンライン議会見学について、お話をさせていただいたとともに、〈今後の方向性〉にオンライン議会見学について追記いたしました。続きまして、41ページを御覧ください。「1(4)のSDGsの実現を目指した持続可能な開発のための教育(ESD)の推進」についての「実績・成果」については、研究指定校として委嘱のみの記載について内容が乏しいと御指摘いただきましたので、教育実践内容を追記しました。また、48ページ「2(2)心のサポート体制の推進」の〈今後の方向性〉の、SNSを活用した相談窓口の実施についての括弧書き部分は、具体を持たせ、より分かりやすい表現に変更しました。続きまして、63ページの「1(2)図書館を通じた生涯学習環境整備の推進」について、3点御指摘いただきまして政令市比較のグラフについては結果を問わず、記載すること、さいたま市暦年の貸出数のグラフについての記載の検討、また、貸し出された本の分類が可能であれば記載してほしいと御指摘いただいた件についてでございます。政令市比較のグラフについては、現在調査中の千葉市を除いたデータを用い記載内容を修正・追記しました。なお、暦年の貸出数及び貸し出された本の分類につきましては、記載できませんでした。何卒、御了承願います。続きまして、84ページを御覧ください。「3 人生100年時代を輝き続ける力の育成」の教育委員会の自己評価では下から5行目の末尾の述語について時系列が一致しないと御意見いただいたことについて修正いたしました。また、95ページの「4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」の教育委員会の自己評価では、検討会で御説明した「今後も、保護者や地域住民の対話や交流を通じた地域の活性化を図るとともに、潜在する地域の高い教育力を学校に呼び込むことで、地域が学校を育て、学校が地域を育てる、学校を核とした持続可能なスクール・コミュニティの構築に努めてまいります。」と追記しました。続きまして、99ページを御覧ください。一番下の行記載の「メンター・メンティ研修」について、市民が分かりやすいよう注記を示しては、との御指摘をいただき、アスタリスクを追記し、説明を加えました。また、101ページの「1(3)部活動指導員の募集」に関しては、登録数、登録状況等を加筆し、より具体

を示しました。最後に、全体を通しての指摘事項について説明いたします。全体を通して、「実績・成果」について、特に基本の方向性2については記載内容を充実させてほしいと御指摘がありましたので、全55事業について、見直し、6点追記しました。42ページには、「1(5)オリンピック・パラリンピック教育を通じた国際性・社会性の育成」における実績について、43ページには、「未来(みらくる先生を活用したキャリア教育の推進)における実績について、103ページには、「学校安全体制の推進」における実績について、各成果を追記いたしました。御指摘いただきました部分の修正のうち、主なものについて説明をさせていただきました。本日、議決をいただけましたら110ページでございますとおり、外部有識者の方々による点検評価委員会を7月、8月に計3回開催し、その御意見を付記した上で報告書として作成し、9月議会に提出するとともに公表する予定でございます。

以上で、令和3年度教育委員会の点検・評価報告書についての説明を終了いたします。

細田教育長 前回、様々な御意見をいただきました内容について反映をさせていただいております。この反映させた結果について御確認いただき、このことについて御意見や御指摘等はございますでしょうか。

大谷委員 私は良く修正されているということで、これで結構です。

細田教育長 では、この前回の御意見等が反映された部分についてはよろしいでしょうか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、前回に指摘はしてないんですけど、気づいた点等がございましたらお願いします。

武田委員 99ページ「メンター・メンティ研修」のことにつきまして、この記述はよろしいかと思えますけれども、これに関連することといたしまして元々、メンターとメンティというのは指導をする側とされる側という、受ける人と与える人という、そういう相互関係のことを英語では言うんですけども、ここでは実際初任者研修の話なので、年代的には中堅教諭と初任者ということでわかり易いかと思うんですけども、もともと何でメンター、メンティと要望を出したかと言うと、教員同士の間で高め合うということかと思うんですね。それで実

際に、ここで初任者研修で実際の授業の学びなので問題ないんですが、この間、学校訪問させていただきましたところ学校の中での先生の研修というのは、校長先生がどういうふうになさっているか各校あるかと思うんですけど、私が訪問させていただきました学校では、色んな年代の教員が、お互いに上から下へだけでなく、それぞれの年代で気が付くことをフラットに、場合によっては下から上の方に今の考え方では子どもたちこうだからこういうふうにするんじゃないかなと、必ずしも上から下だけでなく、今までのものの考え方で取り組めない事態にこそ若い人から提案をすとか、そのようにお互いにシェアしようという形がうまくいっているという話も聞いたりしましたので、今回の注のつけかたとしてはこれで内容は市民の皆さんに分かりやすいとは思いますがメンター・メンティ、この概念を導入するという今までの指導の仕方とは違うやり方を導入するということを多分さいたま市として考えているということじゃないのかなと思うので、これを離れてメンター・メンティといった場合には必ずしも、年代とか世代にではなくて、それぞれの立場でというふうな形でやっていくという気持ちでいらっしゃるとよろしいのかなと思いました。

教育政策室長

今の御指摘大変有難く頂戴いたします。この後、教育長、座長でスクールミーティングというのがありますが、各学校の校長がグループで、学校が抱える諸問題をフリーでトークする場面がありますので、そういった中でも研修の在り方等、教育長の方からも御指導いただきながら全市の方に広げていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

細田教育長

今、武田委員さんが御発言いただいたこと、実はICT、GIGAで700人を超えるエバンジェリストが存在しまして、割と年齢層の低い人達が多いんですね。その彼ら彼女たちがITのリテラシーが高いので、大先輩の59歳とか再任用の先生とかにも色々教えて差し上げているんです。ただICのリテラシーは高いけれども授業のスキルはベテラン教諭の方が高いので、お互いに補完し合いながら、互いに学び合う風土が、それぞれの学校で出来てきたというのが非常に嬉しいことです。今まさに武田委員さんが御指摘頂いたことが、ここかしこに残っているなという実感があります。

野上委員

今ちょうど出たエバンジェリストなんですが、今回はこの書きぶりでいいと思うんですけども、来年の、この検討をしているときにはエバンジェリストがICTの、その利活用のためのエバンジェリストでやったわけですけども、良い副産物がたくさんありました。うちの学

校では色々な立場の人がいてスキルも低い、意識も低い人もいたけども、今回エバンジェリストの運動で大概の人が、自分は避けて通るなんていう教員はいなくなりましたと、それよりもなによりも今回のICTのエバンジェリストでこれは始まったわけですがけれども、他教科でもエバンジェリスト、例えば算数でも理科でも得手の人が皆を巻き込んでということで、エバンジェリストの範囲がICTの分野だけでなく、相互に補完し合うことが意識付けられたと思うんです。だから、なるほどこれだったら色々な教科にエバンジェリストを横串的にしていくというようなところで、来年はこういうところまでお調べをいただき、このような広がりがありますよと、これは何もICT機器だけが得意になるためのエバンジェリストじゃなくてもというようなところを来年に向けて一つ調査というか、広がりのところをお書き願えたら、さいたま市教育の一つのプラスいい点だと思います。

細田教育長 実際ITのツールとして学校全体が授業の質を高めようというふうにまさに広がりを見せているというのが実態だと思いますので、そういうところもしっかり掴みましょう。

それでは、議案第27号につきましては、原案のとおりとしましてよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、原案のとおり可決されました。ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第28号 さいたま市教職員健康審査会委員の任命について
<非公開案件につき内容は省略>
<議案は原案どおり可決>

議案第29号 さいたま市学校結核対策委員会委員の委嘱及び任命について
<非公開案件につき内容は省略>
<議案は原案どおり可決>

議案第30号 さいたま市立教育研究所運営委員会委員の委嘱及び任命について
<非公開案件につき内容は省略>
<議案は原案どおり可決>

議案第31号 さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会委員の委嘱について
＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

議案第32号 さいたま市博物館協議会委員の任命について
＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

議案第33号 さいたま市うらわ美術館協議会委員の委嘱及び任命について
＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

議案第34号 さいたま市美術品等選考評価委員会委員の委嘱について
＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

議案第35号 さいたま市図書館協議会委員の任命について
＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

細田教育長 以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。
これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

8 閉 会 午後3時03分